

CMLマイクロサーキット社（以下、CML社）は集積回路における設計/製造を長年に亘り携わっており、標準品/カスタム品共に多くのデザイン経験を有し、ミックスド・シグナル、RF、アナログ、デジタル、メモリ、およびDSPデザインを含む革新的なソリューションを積極的に提供しています。今回、ユーザー様へCML社最新製品をご案内させていただきます。

CML 社最新製品ニュース:

CMX7031 and CMX7041 – Marine Digital Selective Calling (DSC) 拡張シーケンスによる遭難時の正確なポジショニング

マリン VHF 無線機向け機能をサポートするマルチモード無線機用プロセッサ IC: [CMX7031](#) および [CMX7041](#) は、ITU-R.821 recommendation: Marine Digital Selective Calling (DSC) 拡張シーケンスをサポートし、さらに遭難警報用途として連続送信モードが搭載されています。

標準のマリン DSC は位置分解能として大まかに 1 海里 (1nmi) 未満となりますが、遭難時において本分解能で正確な位置をピンポイントで割り出す事は困難です。これに対し DSC 拡張シーケンスは 1m 以下の正確な地理座標の送信が可能です。

強い潮流が起こる荒れた海においてダイバーが引き上げ要請する場合、1 平方海里の位置情報では発見・救助が遅れ、潜在的にダイバーはリスクに晒されます。DSC 拡張シーケンスを利用可能なマリン VHF 無線機であれば、ダイバーに 1 平方メートル以下の正確な地理座標の送信を可能にし、安全性の確保と迅速な回収を手助けします。

詳細製品情報は CML 社 Web サイトの専用ページよりご確認ください。

[CMX7031 and CMX7041 Multi-mode Two-way Radio \(TWR\) processors page](#)



新規 RF 製品 CMX972 - PLL/VCO 内蔵 直交復調 IC

[CMX972](#) は RF IC シリーズ: [RF Building Block range](#) へ新たに追加された製品となり、PLL/VCO を内蔵し、広周波数帯域かつ最適化された低消費電力で動作する IF/RF 直交復調 IC です。

本復調 IC は 300MHz までの IF 周波数におけるスーパーヘテロダイン構成に最適な製品であり、Low IF システムもしくはベースバンド信号へのダウンコンバートに使用可能なデバイスです。

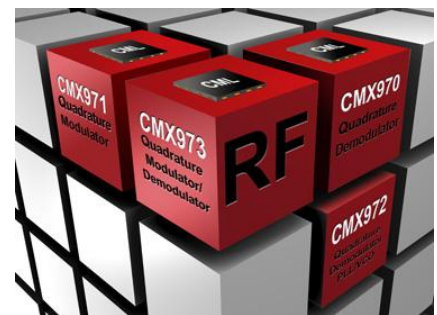
パッケージは 32-pin VQFN の小型サイズかつ外部部品の点数も少なく、サイズ要求の厳しいアプリケーションに理想的なデバイスです。

Features:

- 10MHz Rx I/Q Bandwidth
- < 1 degree I/Q Phase Matching
- < 0.5 dB I/Q Gain Matching
- 低消費電力, 3.0V – 3.6V 動作

詳細製品情報は CML 社 Web サイトの専用ページよりご確認ください。

[CMX972 Quadrature Demodulator product overview page](#)



CMX7011 デジタルボイスプロセッサ IC – late-entry/re-entry 機能と出力レベル調整

[CMX7011](#) に Late-entry/re-entry 機能が追加されました。本機能での利便性は 2 点: 初期同期フレームを取りこぼしたとしても通話接続可能であり、また受信信号のフェージングにより通話が途切れたとしても進行中の通話へ再接続可能です。

またアナログ出力のゲインステージに、既存の 2dB ステップでのコントロールから、より細やかなゲインコントロール 機能が追加され、0.2dB ステップでのコントロールが可能になりました。

詳細製品情報は CML 社 Web サイトの専用ページよりご確認ください。

[CMX7011 Digital Voice Processor product overview page](#)

